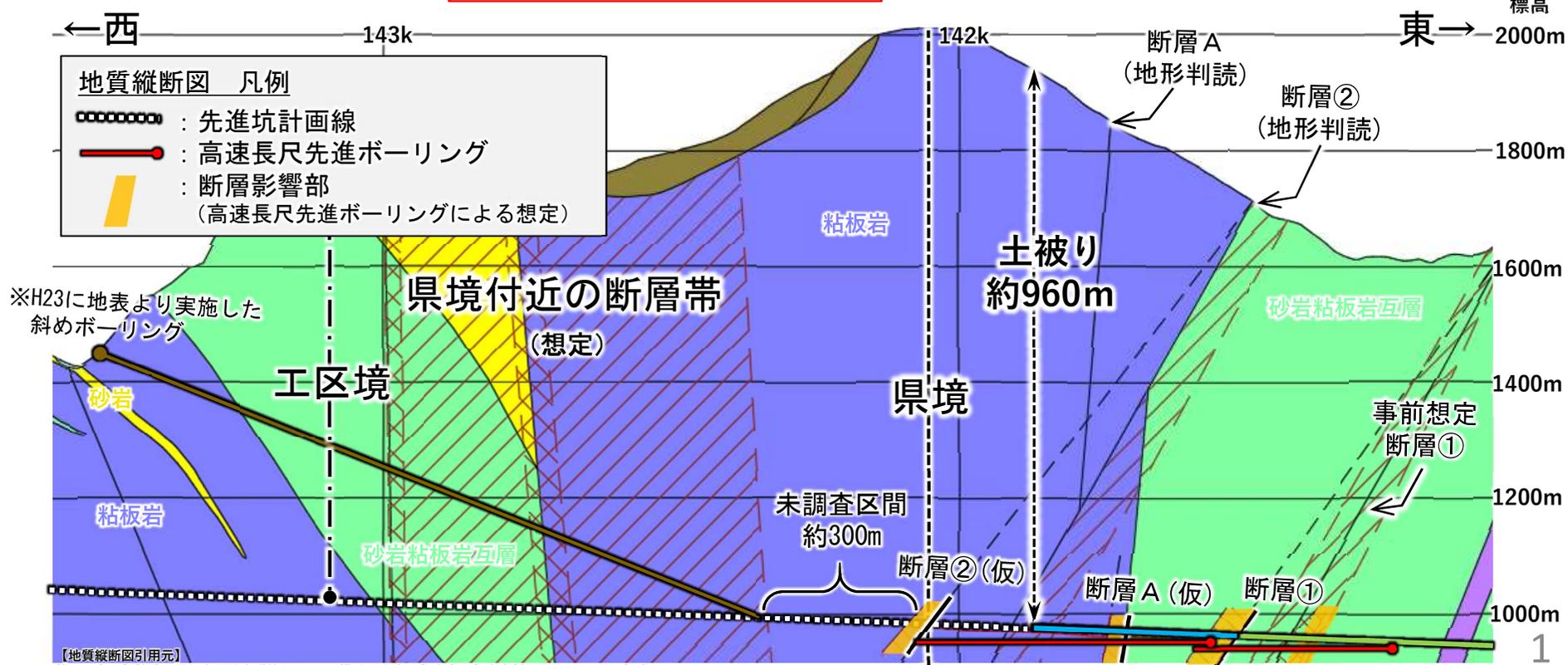
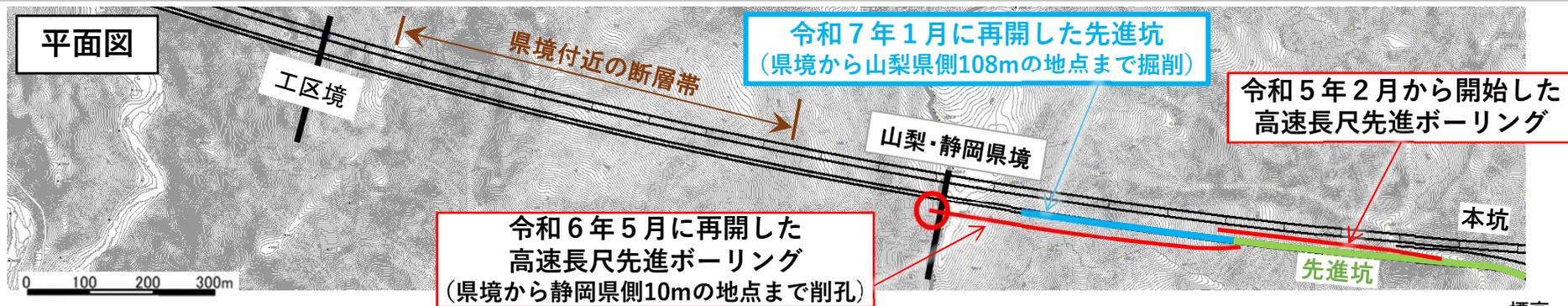


山梨・静岡県境付近の先進坑の掘削状況

資料 2

○令和6年5月に再開した高速長尺先進ボーリング調査は、孔口から511m(県境から静岡県側10mの地点)まで掘削し、一旦終了。その後、令和7年1月8日以降、先進坑掘削を再開し、地質及び湧水の更なる確認を進めている。
 ○2月13日時点で、県境から山梨県側108m(再開位置から370m)まで掘削。

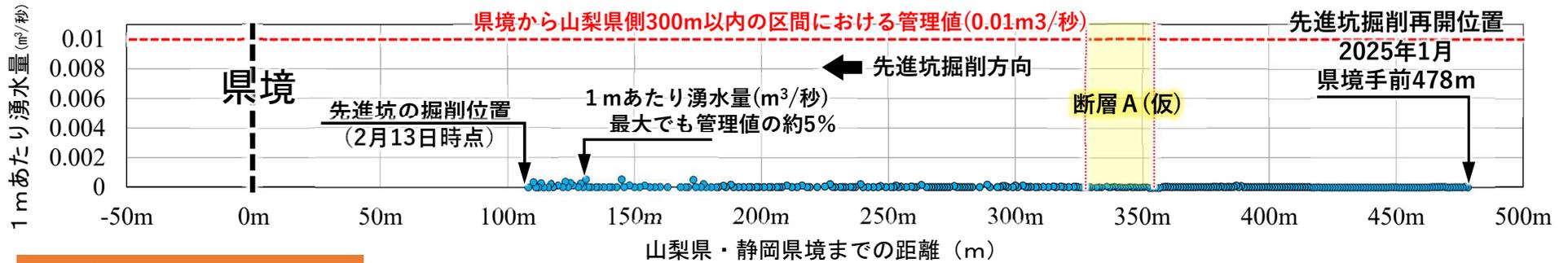


【地質縦断面引用元】
 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議第19回地質構造・水資源部会専門部会資料3-2 図16に一部追記

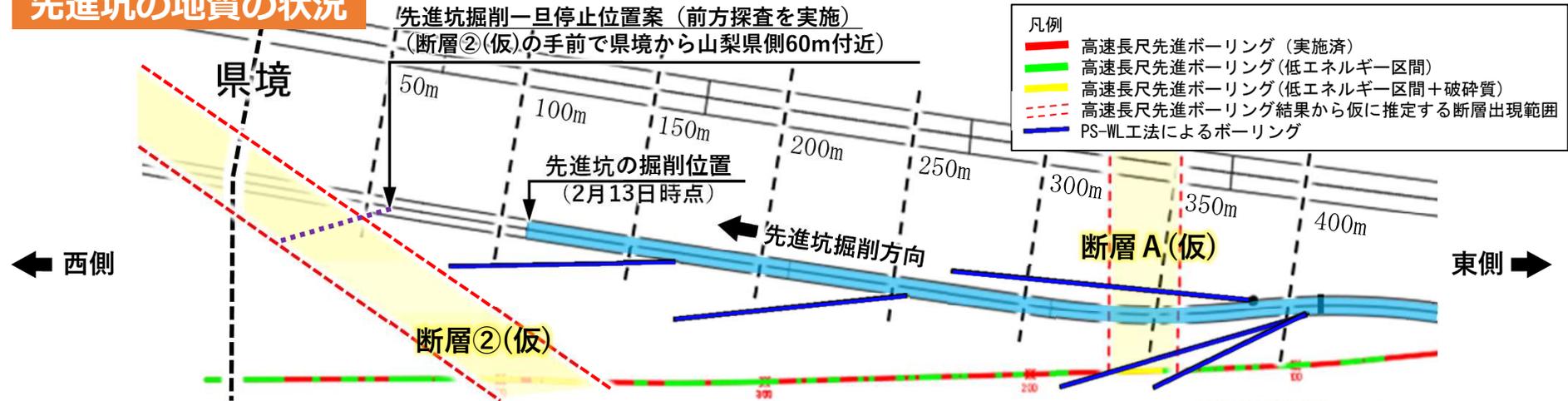
湧水量と地質の状況

先進坑の湧水量

- これまでの先進坑の湧水量は、最大でも管理値※の約5%と、引き続き小さい状況が続いている（※管理値 = 1mあたり0.01m³/秒（10L/秒））



先進坑の地質の状況



- 実施済みの高速長尺先進ボーリング低エネルギー区間では、断続的に脆い地山が出現しており、先進坑の掘削においては、適宜前方探査により地質と湧水の状況を把握し、慎重に掘削を進めている。
- 切羽面は、鏡肌や薄層で脆い地山が所々出現するが、湧水は非常に少ない。次の高速長尺先進ボーリングに向けて断面を拡幅している。
- 先進坑は『県境から山梨県側60m付近』で一旦停止し、前方探査等の結果を踏まえて、県境から確保すべき離隔を検討。その後、県境付近より、県境を越えて高速長尺先進ボーリングを実施。

